

農業委員会だより



主な内容

● 農業委員会からのお知らせ

- 会長挨拶・委員会構成……………2
- 地区担当農業委員の紹介……………3
- 運営委員会・農政委員会……………4
- 農地パトロールの実施……………6

● 地域農業情報

- 農業したいまち栗原……………8
- 直売所でみ～つけた！……………8



教育委員会の主催で、友好姉妹都市東京都あきる野市の中学生と栗原市瀬峰・高清水地区の中学生たちの親善交流会が、8月5日サン・スポーツランド栗駒において開催されました。お昼には、金成やすらぎセンターで栗原市の食文化である「餅つき」を、女性農業委員と中学生が体験交流をしました。杵でついた餅は「ずんだ餅」にし、みんなおいしくいただきました。

あきる野市の
中学生と
餅つきで交流

農業委員会の新体制が決まりました！

任期満了に伴う農業委員会委員の改選が行われ、7月25日に開催された農業委員会総会において、下記のとおり農業委員会及び各農地部会の委員構成等が決定しました。



会長のあいさつ

栗原市農業委員会

会長 鈴木 康則

このたびの改選によりまして、栗原市農業委員会会長の重責を担うことになりました。

今回、さらに女性農業委員が8名に増え、今後の栗原市農業委員会活動の強化と活躍が期待される所です。

さて、現在、国内の農業を取り巻く二つのことが重要課題と考えられます。

第一に環太平洋連携協定(TPP)を現政権のもと、交渉妥結されようとしております。農業分野では低価格の輸入農産物が大量に国内に押し寄せるため、壊滅的な影響を受け、日本の農産物価格が下落し、農業経営を逼迫することが懸念されます。

第二に農地集積及び耕作放棄地解消のため「農地中間管理機構」が設立され具体的に動き出しました。「中山間地域」においても事業が成立し、耕作放棄地解消に繋がることに期待します。

終わりに、大変厳しい農業情勢の中、皆様方と共に地域農業の活性化に向けて農業委員会の役割を着実に実践していくことが、極めて重要となっておりますので、より一層のご協力とご理解をお願い申し上げます。

農業委員会委員構成

会長 鈴木 康則 (若柳)
 会長職務代理者 菅原 英俊 (鶯沢)

農地部会

第一農地部会

(築館・高清水・一迫・瀬峰)

- ◎大澤 洋介 (高清水・公選)
- ◎佐竹きみ子 (築館・公選)
- 門傳 仁 (一迫・公選)
- 熊谷 初美 (一迫・議会推薦)
- 大場 次郎 (瀬峰・公選)
- 佐藤 秀男 (一迫・公選)
- 佐藤 仁 (築館・公選)
- 及川 正一 (高清水・公選)
- 黒澤 光啓 (一迫・公選)
- 竹内 隆行 (築館・公選)
- 曾根 俊範 (志波姫・共済推薦)
- 佐藤 繁美 (築館・公選)
- 狩野 和義 (一迫・公選)
- 狩野 忠一 (一迫・公選)
- 曾根 金雄 (築館・公選)
- 米山 嘉彦 (瀬峰・公選)

第二農地部会

(若柳・金成・志波姫)

- ◎小野 大介 (若柳・公選)
- ◎多田 仁一 (金成・公選)
- 千葉 和恵 (志波姫・公選)

第三農地部会

(栗駒・鶯沢・花山)

- 佐々木 弘 (志波姫・公選)
- 岩淵 敬一 (若柳・公選)
- 佐藤 勝 (金成・公選)
- 上山喜志雄 (若柳・公選)
- 阿部 政紀 (若柳・公選)
- 阿部 一信 (金成・公選)
- 氏家 勝子 (志波姫・公選)
- 尾形陽一郎 (志波姫・公選)
- 鈴木 春江 (若柳・公選)
- 熊谷 ゆり (金成・議会推薦)
- 鈴木 康則 (若柳・公選)
- 小野寺茂樹 (金成・公選)
- 佐々木 剛 (若柳・土改推薦)
- 阿部 正一 (金成・公選)

- ◎佐々木吉司 (栗駒・公選)
- ◎狩野 正行 (鶯沢・公選)
- 佐藤 みき (栗駒・議会推薦)
- 岩淵 弘 (栗駒・公選)
- 伊藤 重行 (栗駒・公選)
- 大場 裕之 (築館・農協推薦)
- 土井 孝敏 (栗駒・公選)
- 菅原 英俊 (鶯沢・公選)
- 千葉 優子 (花山・公選)
- 佐藤 憲一 (栗駒・公選)
- 菅原 一志 (栗駒・公選)
- 秋山 憲義 (栗駒・公選)
- 狩野 善典 (花山・公選)

※◎農地部会長

○農地部会長職務代理者

各地区の担当農業委員を紹介します！

農地法に基づく許認可、遊休農地の解消、認定農業者等への農地の利用集積、農業者年金への加入、そのほか農地に関するご相談は、各地区の担当農業委員または農業委員会事務局までお問い合わせください。

築館地区

曾根 金雄	(上町、南町、中町、西町、北町、下町、東町、伊豆一区、伊豆二区、駅前、坂下、館下、赤坂、成田、佐野、萩沢、高森)
佐竹 きみ子	(下萩沢、中照越、下照越)
大場 裕之	(蟹沢、八沢、上照越)
佐藤 仁	(横須賀、太田)
竹内 隆行	(秋山、本木、八幡町、宮野上町、宮野下町、留場北、留場南、芋塚)
佐藤 繁美	(花の木、大堀、黒瀬、沖富、根岸)

若柳地区

岩淵 敬一	(三田鳥、下在、北浦、中町)
小野 大介	(有賀、上在、町館、新町一、新町二)
阿部 政紀	(大林一、大林二、福岡)
上山 喜志雄	(元町一、元町二、元町三、片町一、片町二、大袋、荒町、並柳、十文字、我門、北二股)
佐々木 剛	(新山、上町、南大通、下町一、下町二、八木、川原、南二又、大目、新田)
鈴木 春江	(大畑、峯、内谷川)
鈴木 康則	(かけ、米ヶ浦一、米ヶ浦二、多賀)

栗駒地区

伊藤 重行	(耕英、滝ノ原、日照田、馬場、三丁、若木)
佐藤 憲一	(茂庭町、六日町、八日町、四日町、東方区、下小路、上小路上、上小路下、中野上、中野下、上野)
菅原 一志	(猿飛来上、猿飛来下)
土井 孝敏	(里谷、深谷、鳥沢下、鳥沢北、鳥沢南)
佐々木 吉司	(荒砥沢、新田、角ヶ崎、川東、川西、山口、中文字、下文字)
岩淵 弘	(八幡、桜田上、桜田下、菱沼、栗原根岸、栗原沖)
佐藤 みき	(芋塚、渡丸、泉沢、田高田、町田、西田)
秋山 憲義	(高松、清水田、宝領、大鳥西、大鳥中、大鳥東)

高清水地区

大澤 洋介	(1区、2区、3区、4区、5区、6区、7区)
及川 正一	(8区、9区、10区、11区、12区、13区)

一迫地区

狩野 和義	(大館、竹の内、曾根、姫松南沢、畑)
黒澤 光啓	(南沢、保呂羽、輝井、八幡)
佐藤 秀男	(本町、中町、荒町、清水一、清水二)
熊谷 初美	(本沢、一本松、狐崎1、狐崎2、姫松南沢、畑、片子沢)
狩野 忠一	(嶋躰、清水目、東町、金田中町、新町、滝野、川北、大崩)
門傳 仁	(高橋下、高橋上、荒町下、荒町上、大川口上、大川口下)

瀬峰地区

大場 次郎	(野沢、泉谷、下荒町、上荒町、牛淵、川前、上富、下富、宮小路原、藤田)
米山 嘉彦	(下田、下藤沢、瀬嶺、新田沢、中藤沢、上藤沢、小深沢)

鶯沢地区

菅原 英俊	(秋法上、秋法下、八沢、日向、堰根)
狩野 正行	(駒場上、駒場下、袋)

金成地区

阿部 正一	(字南、沢辺上、沢辺下、姉齒上、姉齒下、梨崎下沢辺、小堤)
多田 仁一	(北、畑一、畑二)
熊谷 ゆり	(南一、南二、東)
小野寺 茂樹	(有壁一、有壁二、有壁三、上片馬合、下片馬合)
阿部 一信	(末野、藤渡戸、赤児、普賢堂)
佐藤 勝	(小迫、岩崎平形、大原木)

志波姫地区

尾形 陽一郎	(宮中、山の上、里)
氏家 勝子	(荒町、橋本、大平、間海)
千葉 和恵	(上、中、下)
曾根 俊範	(南、新田、熊谷)
佐々木 弘	(十文字、城内、町、北)

花山地区

狩野 善典	(宿、程野、小豆畑、天ヶ沢、座主、花山沢、北ノ前、松ノ原)
千葉 優子	(荒谷、大笹、上原、金沢、中村、浅布)

農業者年金に加入しましょう！

農業者年金は農業者の方なら広く加入できる年金です。

詳しくは、農業委員会事務局へお問い合わせください。 電話 42-1239

市町村新任農業委員研修会 農業委員としての知識を研修

8月6日(水) / 仙台市



委員 佐藤 勝

連日の強い日差しが照りつける中、8月6日仙台市のホテル白萩において、県下140名ほど、当委員会から12名の出席のもと、平成26年度市町村農業委員会新任農業委員研修会が行われました。

研修の内容につきましては、農業委員会制度と農業委員会系統組織を巡る情勢や農地法の概要、そして、農業委員の日常生活など農業委員としての基本的な知識を研修しました。

特に、政府が6月10日決定した農業委員会改革に多くの委員が関心を持たれたようでした。私も今後どのように推移していくのか見守りたいと思います。今回の研修を終えて、改めて



▲研修会の様子

農業委員の果たす役割の重要性を学びました。今後、農地の確保と有効利用や地域農業の振興、そして、農業者の要望の実現に向けて取り組んで行かなければならないと言う強い思いを抱かされた大変有意義な研修会でした。

農業委員会委員研修会 指定廃棄物最終処分場詳細調査候補地を視察

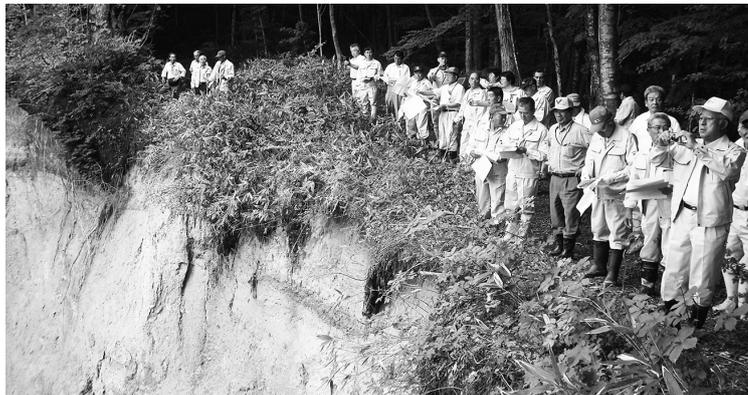
6月16日(月) / 栗駒地区深山嶽

農業委員会では平成26年1月20日の総会において、指定廃棄物最終処分場の建設に反対する決議をしました。

農業委員全員による栗駒地区の深山嶽の現地確認を地域住民の会代表 菅原敏允様(栗駒文字)の案内で行いました。

深山牧場からは歩いて現地入りしましたが、途中、いたる所で亀裂があり候補地両側では大規模な崩落を確認しました。深山嶽地域は平成20年岩手・宮城内陸地震で大規模な崩落が発生した地域です。指定廃棄物最終処分場が指定されることになれば、原発事故後の被害や風評被害に照らしても、栗原市の基幹産業である農業に及ぼす影響は計り知れず、それぞれの経営が深刻な打撃を被ることになります。

現在も国、県と候補地3市町



▲深山嶽崩落場所を調査

この協議が継続しております。このことは、将来の世代に禍根を残すことになり、指定廃棄物最終処分場の建設に強く反対しなければならぬと改めて思いました。

(菅原英俊委員)

農業者年金に加入しましょう！

農業者年金は農業者の方なら広く加入できる年金です。

詳しくは、農業委員会事務局へお問い合わせください。

電話 42-1239

9月・10月・11月

実施します!

農地パトロール (利用状況調査)

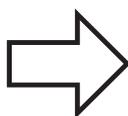
農業委員により毎年実施するこのパトロールは、遊休農地の把握と発生防止、農地の違法転用の有無を確認しています。

今年も市内の農地が **適正に利用されているか** を調査しますので、ご協力をお願いします。



○右記に該当する農地については、農業委員会が所有者等へ

適正利用について指導



します。

指導対象農地

- ① 1年以上耕作されず、続く見込み
- ② 周辺と比べ低利用
- ③ その他違反転用など

気を付けましょう!!



秋の農作業は始まる時期となりました。毎年、農作業時の事故が多発しております。事故が起きないように、当たり前の作業でも安全確認することが大切です。

また、トラクターなど農作業機械での公共道路を通行する際は、土などが道路に落ちないように、通行時のマナーに心がけましょう!

みんなで、読もう! **全国農業新聞** 発行日 毎週金曜日 購読料/1ヶ月600円(送料込)

お申し込みは・お問い合わせは、栗原市農業委員会事務局まで **電話 42-1239**

「農業者年金」に加入しませんか？

農業者年金は、あなたの老後
をがっちりサポートします。

あなたの老後の備えは
十分でしょうか？

年金は家族一人ひとりが
準備することが大切です！

あなたが、**60歳未満** の国民年金の **第1号被保険者** なら、
年間60日以上農業に従事 していれば、農業者年金に加入できます。

農業者年金のメリットは・・・

- ・ 終身年金で80歳までの保証付き！
- ・ 税制上の優遇措置！
(支払った保険料は全額社会保険料控除)
- ・ 保険料の額は自由に決められます！
(月額2万円～6.7万円)
- ・ 一定の要件を満たす方は保険料の国庫補助があります！

少子高齢時代に強い
積立方式の年金です！

お問い合わせは…
栗原市農業委員会事務局
☎42-1239
JA栗っこ推進企画課
☎23-2115

農家相談コーナー

Q

許可を受けず農地の転用を行った場合、どうなるのでしょうか。

A

違反転用に対する処分等があります。

一、農地の転用を行う場合には、原則として農地の転用許可を受けなければなりません。

また、農地の転用に係る許可を受けても、その時の転用目的を変更する場合には、事業計画の変更等の手続きが必要です。

二、仮に、許可を受けず無断で農地を転用した場合や、転用許可に係る事業計画どおりに転用していない場合には、農地法に違反することとなり、国または知事から工事の中止や原状回復等の命令がなされる場合があります。

その際、現状回復等の命令に定める期日までに命令に係る措置を講ずる見込みがないときなど、国または知事が自ら原状回復等の措置を講ずる場合があります。

なお、その費用は、原則違反転用をした者から徴収することになります。

三、違反転用や原状回復命令違反については、個人にあっては三年以下の懲役または三百万円以下の罰金、法人にあっては一億円以下の罰金という罰則の適用もあります。

農業者年金に加入しましょう！

農業者年金は農業者の方なら広く加入できる年金です。

詳しくは、農業委員会事務局へお問い合わせください。 電話 42-1239

農業したいまち 栗原

将来は年間を通して 長ネギを出荷!

瀬峰川前地区の片倉栄治さん(39)は、両親、妻、子供3人の7人家族で、主に長ネギの栽培に取り組んでいます。現在は、長ネギの露地栽培を2.5ha、水稲を7ha



▶片倉さんのお子さんと一緒にハイチーズ!

経営しており、両親の他、秋冬の忙しい時期は数人にお手伝いしてもらい市場や加工業者などへ出荷しています。

栄治さんは、会社に勤めながら10年前から長ネギ栽培を研究して来ており、今後の農業経営を考えて、3年程前から、通年で収穫できる長ネギを本格的に栽培し始めました。

長ネギは土壌づくりが一番大切で、堆肥を調整したり、土の状態で出荷時期を決め作付けしているそうです。

「やっと長ネギ栽培が軌道に乗ってきたので、将来は、栽培面積を増やし、年間を通して長ネギを出荷できるように頑張っていました。」と語っていました。

直売所でみ〜つけた!

あやめの里
☎0228-57-6151 (定休日 第1・3火曜)

栗原市一迫の一迫総合支所に向かい側にある「あやめの里」にお邪魔しました。こちらの直売所は、平成12年4月にオープンしました。地元の木材を使った建物は、古民家のような造りで、どこか懐かしさを感じます。

お邪魔した8月12日はちょうどお盆セール中で、たくさんの方が訪れており、店内には新鮮な野菜や米、お盆用のお花、特産品などが販売されていました。店舗の外では、流しそうめんなどが振る舞われており、お客様の笑顔がとても印象的でした。

鎌田館長さんは、「県内外たくさんのお客様にお越しいただき感謝しております。平成20年と平成23年の地震の際、この直売所も多大な被害を受けましたが、関係機関のご尽力により復興することができました。これからも心安らぐ物産の館として地域の皆さんとがんばります。」と話していました。



▲ぜひお立ち寄りください!

編集委員会 委員の紹介

- | | |
|------|------|
| 委員 | 菅原英一 |
| 副委員長 | 伊藤重行 |
| 委員 | 藤家勝子 |
| 委員 | 氏野正行 |
| 委員 | 狩野忠勝 |
| 委員 | 佐藤春勝 |
| 委員 | 鈴木金江 |
| 委員 | 曾根雄彦 |
| 委員 | 千葉優子 |
| 委員 | 米山嘉彦 |

編集後記

国では規制改革会議の農業ワーキンググループで、農業委員会、農協、農業生産法人の組織を見直す改革に関する意見が提出されました。

今年、予算措置もされて本格的に検討される見通しで、具体的に農業委員会の位置付けが提案されるようです。

農業委員会だよりも、これからの農業経営に必要な情報をいち早く、分かりやすくお伝えします。よろしくお願いします。

(菅原英俊委員)